

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学 者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な 語学や情報処理 の基礎的な能 力、文献購読・ 文章作成・コ ミュニケーショ ンの基礎的な能 力を身につけて いる。	DP② 持続可能 な社会に関する 幅広い教養を身 につけている。	DP③ 持続可能 な社会に関する 学際的かつ総合 的な専門性を身 につけている。	DP④ 持続可能 性に関して具体 的な課題につい て考察した上 で、適切な判断 を導き、それら を文章や対話を 通じて表現する ことができる。	DP⑤ 社会の多 様な人びとに対 して共感する力 と、現場 (フィールド) から主体的に学 ぶ姿勢を身につ けている。
人間環境演習	OTR400HA	【テーマによって異なる】	○	○	○	◎	○
ヨーロッパ地域・経済研究 技術哲学Ⅰ 技術哲学Ⅱ	ECN300HA PHL200HA PHL300HA	<p>歴史的経緯を踏まえ、現在のヨーロッパの地域に関するトピックス、特に産業や経済の観点から学ぶことにより、ヨーロッパ地域全体の大枠での現状を認識し、分析できるようにする。</p> <p>本授業で履修者が目指すべき到達目標は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の技術の特徴について、授業で扱った概念を用いて説明できる。 ・技術が人間社会に及ぼす影響について、授業で扱った概念を用いて説明できる。 ・技術がもたらしうる問題について、論理的・批判的に思考できる。 <p>本授業で履修者が目指すべき到達目標は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の技術の特徴について、授業で扱った概念を用いて説明できる。 ・技術が人間社会に及ぼす影響について、授業で扱った概念を用いて説明できる。 ・技術がもたらしうる問題について、論理的・批判的に思考できる。 		◎	◎		
人間環境学への招待	BSP100HA	<p>「持続可能な社会」に係わる多様な問題のメカニズムに関する知見を獲得しながら、実践的な解決策を模索するとともに、人間環境学部の学びのあり方を習得するための基本的な姿勢を身につける。</p> <p>人間環境学部における勉学の方向づけ（カリキュラム構成・コース制・研究会など学部の特色の理解）、人間環境学部における「専門性」（既存の学問分野の成果を活かしながら、分野の枠を超える総合的・学際的な思考）について、各コース科目を担当する教員の講義を通して理解する。</p> <p>多様な学問分野やアプローチ方法を学ぶ中で、自分の関心を明確にし、以後の本学部でのコース選択・科目選択のガイドとなる情報を得る。</p>	○	◎			
基礎演習	BSP100HA	<p>文献や資料の検索法、プレゼンテーションやレジュメの作成法、議論の方法、レポートの執筆方法等を身につけることができる。</p>	◎			○	
情報処理基礎	COT100HA	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの基本を学び、安全なコンピュータ・ネットワークの利用ができる。 ・各種情報の収集と調査にインターネットを活用できる。 ・文書作成技法を学び、図表を活用したレポートの作成ができる。 ・表計算、グラフ作成、集計技法を学び、基礎的な数値分析ができる。 ・基礎的なプレゼンテーションデータ作成ができる。 	◎				
ネットワークとマルチメディア	COT100HA	<p>この授業を通じて習得されるプログラミング技術は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プログラミング言語の初歩を理解できる。 2. オブジェクト指向の初歩を理解できる。 3. 簡単なゲームを作成することができる。 4. データを解析して可視化することができる。 	◎				

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
統計とデータ分析	PRI100HA	具体的な目標は次の通りである。 ・統計学の基礎知識を習得する。 ・統計的手法を社会的現象の分析のために応用することができる。 ・EXCELの各種機能の利用法を習得し、これを高度（実務）利用することができる。 この授業では、様々な情報についてPCを用いて統計処理し、それを応用する力を身につけることをめざしている。もちろんこれらを学習することは、環境学への応用という面だけではなく、大学生として身につけるべき教養という側面もある。	◎				
English Communication 1	LNG100HA	英語でのコミュニケーションに親しみを持つことが第一目標です。教材の英語と生の英語の違いを学ぶことも重要です。	◎				
English Communication 2	LNG100HA	英語でのコミュニケーションに親しみを持つことが第一目標です。教材の英語と生の英語の違いを学ぶことも重要です。	◎				
English Communication 3	LNG100HA	英語でのコミュニケーションに親しみを持つことが第一目標です。教材の英語と生の英語の違いを学ぶことも重要です。	◎				
Advanced English Communication 1	LNG200HA	The goal of this course is to develop students' abilities to communicate confidently in English and to be able to express one's thoughts clearly.	◎				
Advanced English Communication 2	LNG200HA	The goal of this course is to develop students' abilities to communicate confidently in English and to be able to express one's thoughts clearly.	◎				
テーマ別英語 1	LNG200HA	専門的な内容の講義を英語で理解し、英語で口頭発表・レポート作成をできるようになること		○		◎	
テーマ別英語 2	LNG200HA	専門的な内容の講義を英語で理解し、英語で口頭発表・レポート作成をできるようになること		○		◎	
テーマ別英語 3	LNG200HA	専門的な内容の講義を英語で理解し、英語で口頭発表・レポート作成をできるようになること		○		◎	
テーマ別英語 4	LNG200HA	専門的な内容の講義を英語で理解し、英語で口頭発表・レポート作成をできるようになること		○		◎	
憲法の基礎	LAW200HA	1) 日本国憲法の基本的原理、ものの見方を理解する。 2) 自身の見解を論理的に表現する。 3) 日常に潜伏する「憲法問題」を見抜く力を獲得する。		◎			
市民社会と政治	POL200HA	私たちの日常で感じる疑問を社会課題とつなげて考え、議論する力を身につけることができる。 授業でのディスカッションを通じて、他の学生の意見をきくことでより自分の意見を深めることができる。		◎		○	
現代社会論Ⅰ	SOC200HA	本科目は現代社会が直面している諸問題を社会学の概念や理論を使って分析することによって、それぞれの学生が自分で考え、それを言語化する力をつけることを目標とします。新たな視点を得ることで「当たり前」を疑い、主体的に調べ、議論する力を涵養することを目指します。		◎			
現代社会論Ⅱ	SOC200HA	本科目では、ジェンダーの規範が個人の経験や社会の構築に与える影響を、基本的な理論と概念、国内の歴史の変遷、諸外国との比較を通して探ります。日常生活や現代日本社会における制度、規範を多角的・多面的に分析することから新たな知見を獲得することを目標とします。		◎			
現代社会論Ⅲ	SOC200HA	本科目では、一般的に自明なものであると考えられている「身体」及び「生命」を社会学的観点から捉えることにより新しい知見を得ることを目標とします。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学 者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な 語学や情報処理 の基礎的な能 力、文献購読・ 文章作成・コ ミュニケーショ ンの基礎的な能 力を身につけて いる。	DP② 持続可能 な社会に関する 幅広い教養を身 につけている。	DP③ 持続可能 な社会に関する 学際的かつ総合 的な専門性を身 につけている。	DP④ 持続可能 性に関して具体 的な課題につい て考察した上 で、適切な判断 を導き、それら を文章や対話を 通じて表現する ことができる。	DP⑤ 社会の多 様な人びとに対 して共感する力 と、現場 (フィールド) から主体的に学 ぶ姿勢を身につ けている。
NPO・ボランティア論	SOC200HA	<ul style="list-style-type: none"> ・ N P Oの意味、役割、これまでの歴史、運営や財源、行政や企業との関係などについて理解を深めるとともに、現代社会の持続不能性と持続可能性について考えます。 ・ ボランティアの意味、役割、これまでの歴史、NPOとの関係について理解するとともに、SDGsとボランティア、SDGsと市民について、考えます。 ・ N P O・ボランティアが取り組んできた課題への理解を通して、社会の変化や現代社会の課題について問題意識をもち、自分たちひとりひとりができることについて考えます。 ・ 今後のより良い社会のあり様を、どのように考えていけばよいのか。市民一人ひとりが、社会とどのように向き合い、関わるべきか、学生自身も含めて考えます。 		◎			○
社会統計論	SOC200HA	調査計画からデータ分析に至るまでの統計調査における一連のプロセスを理解する。データ分析においては、クロス集計の方法など基礎的な統計処理の手順を習得する。分析の目的（何を比べているのかなど）や分析の意味（どのようにしてその分析が行われているのかなど）を理解した上で適切な集計・分析を行えるようになることを目標とする。	◎				
フィールド調査論	SOC200HA	<ul style="list-style-type: none"> ①メディアリテラシーおよびリサーチリテラシーを身につける ②既存調査の結果やインタビュー調査の結果を分析し、わかりやすく的確に報告できる ③社会・環境と人間に関するリサーチクエスチョンを持ち、社会調査（のデータ）を活用して解明・考察できるようになる 	◎				○
ファシリテーション論	SOC200HA	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者主体の話しあいや課題解決の方法論と、そのような場におけるファシリテーションの意義や役割を説明することができるようになる。 ・社会における連携や協働の実現の鍵となる「当事者としての主体性」や「相互作用による創造性」を育むための働きかけができるようになる。 ・演習での体験を通じ、メンバーの個性を活かし、ともに協力しあうチームを育てていくためのリーダーシップを発揮できるようになる。 	◎			○	
グローバル・コミュニケーション	SOC200HA	<p>The aims of the course are:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ to give students opportunities to better know themselves, their values and biases, and to develop an awareness of how these factors influence intercultural environment. ・ to enable students to identify culturally learned assumptions and behaviours. ・ to enable students to explore specific cultural group information and relate that knowledge to culturally learned awareness. ・ to enable students to understand theoretical issues relevant to the study of intercultural communication. ・ to develop the process of cultural adaptation. ・ to promote positive attitudes towards the culturally different and to develop intercultural communication competence. <p>Through this course, students will be able to prepare for their professional lives not only in their domestic society but also in an international society. Students entering the fields of business, teaching, social services and tourism will have opportunities to apply their skills in daily contacts with culturally different client groups.</p>	○	◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
サイエンスカフェⅠ	BSC200HA	高等学校で履修する「化学基礎」と「化学」を大学受験科目にしていなかった受講者が、「環境科学Ⅰ」「環境科学Ⅱ」「環境科学Ⅲ」などの科目を履修するとき必要とする、基礎化学理論を習得することを目指します。		◎			
サイエンスカフェⅡ	BLS200HA	学生は、自分自身の身体の構造、仕組みを理解し、健康をはぐくむうえで必要となる組織学、生理学などの幅広い知識を習得する。 学生がこれから生きていく上で重要な健康の保持増進、疾病の予防を最終目標とする。		◎			
サイエンスカフェⅢ	BAB200HA	本授業では、以下の点と到達目標とします。 1.地球環境と生態系の成立ちを理解します。 2.生態学的基礎知識を獲得します。 3.生態系と自らの生活との繋がりについて、調べ、考え、理解します。 4.地球環境と生態系に関する知識を基に、今後の地球環境の変化に対応する考え方を習得します。		◎			
サイエンスカフェⅣ	PHY200HA	物質とエネルギーに関する内容について学習し、物理学的な知識の修得は環境問題を考察するために必須であることが理解できるようになることをめざしている。具体的な目標としては次に示すとおりである。 ・物理学の基礎事項を修得する。 ・様々な自然科学的単位について説明できる。 ・エントロピーの概念について理解する。 ・物理学と環境問題との関係性について説明できる。 なお授業内容に関係する分野は、運動と力・エネルギー、物質と熱現象、気体、波動、電流と回路、電界と磁界、原子と原子核などであり、高校物理の内容をほぼ網羅するものとなっている。		◎			
自然環境論Ⅰ	GEO200HA	自然環境の地域的差異・メカニズム・歴史的変遷を説明できる。 人間社会が自然環境の影響を受ける側面を具体的に記述できる。		◎			
自然災害論	GEO200HA	自然災害リスクを決定づける要因を説明できる。 災害リスクを低減させる取り組みについて自然と社会の両面から具体的に記述できる。		◎			
エネルギー政策論	POL300HA	①エネルギーの基本的技術構造の説明能力を習得する。 ②社会構造とエネルギー利用の関連性の説明能力を習得する。 ③国内政治とエネルギー利用の関連性の説明能力を習得する。 ④エネルギー需給構造について国際的要因の説明能力を習得する。 ⑤エネルギー政策立案時の視点や立案のポイントを理解する。 ⑥質疑応答・討論によりエネルギー問題について理解を深める。		◎			
労働環境論Ⅰ	SOC300HA	労働者・職業人として自らの意思でキャリアを形成していくための基本的な知識を習得すること。		◎			
労働環境論Ⅱ	SOC300HA	サステナビリティ経営の観点から、現代の企業に求められる雇用や労働に関する取り組みの全体像を知識として習得すること。			◎		
科学技術社会論Ⅰ	SHS300HA	授業を通して目指す到達目標は以下のとおりです。 ・科学技術がもたらす社会問題について、具体例を挙げながら説明できる。 ・科学技術がもたらす社会問題について、専門家および市民の立場から考察できる。 ・科学技術がもたらしうる社会問題について、批判的に思考できる。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学 者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な 語学や情報処理 の基礎的な能 力、文献購読・ 文章作成・コ ミュニケーショ ンの基礎的な能 力を身につけて いる。	DP② 持続可能 な社会に関する 幅広い教養を身 につけている。	DP③ 持続可能 な社会に関する 学際的かつ総合 的な専門性を身 につけている。	DP④ 持続可能 性に関して具体 的な課題につい て考察した上 で、適切な判断 を導き、それら を文章や対話を 通じて表現する ことができる。	DP⑤ 社会の多 様な人びとに対 して共感する力 と、現場 (フィールド) から主体的に学 ぶ姿勢を身につ けている。
科学技術社会論Ⅱ	SHS300HA	授業を通して目指す到達目標は以下のとおりです。 ・科学技術がもたらす光と影について、具体例を挙げながら説明できる。 ・科学技術がもたらす新しい事態について、批判的に思考できる。 ・本授業で扱う事例について、自らの意思決定を他者に説明できる。		◎			
開発教育	EDU200MA	1) 国際社会で積み上げられてきた合意文書、教材、報告書等から、ジェンダー等脆弱性の理解、パワーの所在、気づきにくい差別、参加とエンパワメントに関する基本概念と歴史や経緯を理解する。 2) 人権尊重の思考と行動枠組、社会の公正な運営方法に必要な思考と行動のスキルを自分と社会の現実と関連させながら理解し実践する。 3) 参加型学習の学び方(手法、概念、進行)を経験し、人々をエンパワメントする学習について理解する。		◎			○
アーティストと社会貢献	SOC300HA	・アーティストの社会貢献活動の歴史、現状と課題について理解する。 ・アーティストが社会貢献活動を通じて訴えたい現代社会の諸問題を考察する。 ・アーティストの社会貢献活動を通して、自らの社会参加について思考力を高める。 ・社会貢献活動の実践的な企画力を身につける。		◎			○
環境教育論	SEE300HA	環境教育の目的やねらい、歴史的経緯、環境教育で扱われるテーマや主要な概念、教育方法について理解し、説明ができる。環境教育の現状や課題、可能性などについて複合的な視点を持ち、自分なりの考えを持てるようになる。 また、環境教育実践へつながる関心や意欲をはぐくみ、自分なりにプログラムや教材を考える視点や基礎を身に付ける。			◎		○
キャリア入門	CAR200HA	自らの意思で自律的にキャリアを形成していくため、キャリア論や労働環境に関する基礎知識を習得すること。自身のキャリア展望について、理論をもとに考察できるようになること。		◎			
スポーツビジネス論Ⅰ	HSS211LB	本講義は、(1)マーケティングとスポーツマーケティングの関係、(2)消費者行動論からみたスポーツ消費の特性、などを理解し、は、マーケティングの基礎的な理論をベースに、スポーツビジネス戦略を理解することを目標とする		◎	○		
スポーツビジネス論Ⅱ	HSS212LB	スポーツビジネスの諸問題について理解を深めること スポーツビジネスの諸問題について解決策を提案できるようになること		◎		○	
行政法Ⅰ	LAW200HA	行政の様々な活動を法的に理解・考察できるようになることを、本講義の到達目標とする。		◎			
行政法Ⅱ	LAW200HA	行政と国民の間の紛争をいかに法的に解決するかについて、論理的に考えられるようになることを本講義の到達目標とする。		◎			
民事法Ⅰ	LAW200HA	我が国は法治国家であり、紛争が生じた場合、最終的には、司法権を行使する裁判所が、法律に従って、終局的な解決を図る。本講では、民事紛争を解決する際の抛り所となる民法について、主に契約法と不法行為法を中心に、裁判実務を交えて学習し、その学習を通じて、学生たちは、法的なものの考え方(リーガルマインド)を身に付けることを目標とする。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
民事法Ⅱ	LAW200HA	我が国は法治国家であり、紛争が生じた場合、最終的には、司法権を行使する裁判所が、法律に従って、終局的な解決を図る。本講では、民事紛争・家事紛争を解決する際の拠り所となる民法の中の親族法と相続法を中心に、裁判実務を交えて学習し、その学習を通じて、学生たちは、法的なものの考え方（リーガルマインド）を身に付けることを目標とする。		◎			
国際法Ⅰ	LAW200HA	国際法の基本的特徴を説明できるようになる。国際法Ⅱと併せて受講することにより、国際問題に関するメディアの報道を国際法の視点から理解し、批評できるようになる。		◎			
国際法Ⅱ	LAW200HA	国際法の各個別分野につき、基本的な内容や制度を説明できるようになる。国際法Ⅰと併せて受講することにより、国際問題に関するメディアの報道を国際法の視点から理解し、批評できるようになる。		◎			
国際関係論	POL100HA	1、国際関係論の研究分野における主要なテーマを2つ以上取り上げ、初歩的な説明ができる。 2、国際関係論の各テーマに関連するキーワードを3つ以上取り上げ、説明することができる。		◎			
アメリカ法の基礎	LAW200HA	学生が、この授業をとおして、アメリカ法の基本的な制度を理解できるようになるとともに、社会問題の解決策がひとつではなく、様々なアプローチがあることを理解できるようになることを目標とします。		◎			
地方自治論	POL200HA	他の自治体政策に関する科目を理解できるように、地方自治に関連する基礎知識を幅広く学習する。このことにより、地方自治体が様々な公共サービスを提供し、自らの生活といかに関連しているかを理解する。		◎			
刑法の基礎	LAW200HA	法と倫理・道徳との異同、刑法の意義・役割・限界、刑罰の目的や刑法と他の法律との関係をふまえて、刑法の一般原則および犯罪の一般的・個別的な成立要件等や、さらにこれに関する判例（裁判所の判断）および学説の議論を理解し、これらの基礎知識を修得することが、この授業の到達目標です。 レジュメには、〔確認問題〕・〔検討問題〕を適宜もうけます。基礎知識修得の目安は、その各問題の解答と理由とを理解し、それを文章（言語）できちんと説明できるようになることです。		◎			
環境法Ⅰ	LAW300HA	本講義は、様々な環境問題に対する事前の防止や事後的な解決において法の果たす役割について、理論的かつ総合的に理解することを到達目標とする。			◎		
環境法Ⅱ	LAW300HA	環境問題に現実にかかわる上で必要な知識です。社会人として、この問題に直面したときに、法的な枠組みを用いて考えることができるようにすることを目標とします。			◎		
環境法Ⅲ	LAW300HA	「環境法Ⅰ」の履修を前提として、個別の環境法制の検討を通して、環境法政策の実務的な課題をとらえるとともに、それをめぐる法的論点の理解を深めることを到達目標とする。			◎		
環境法Ⅳ	LAW300HA	例えば、山の中にいらなくなったパソコンを捨ててくるのは、不法投棄（廃棄物処理法違反）です。それでは、自分の敷地の一角に放置しておくのは、犯罪なのでしょうか？燃えるゴミと燃えないゴミを分別しないで捨てたら捕まるのでしょうか？コンビニのゴミ箱に家のゴミを捨てたら犯罪なのでしょうか？従業員が環境犯罪を犯した場合、会社や会社の社長は処罰されるのでしょうか？この授業を受講すると、これらの場合にどのように考えるべきかが分かるようになります。			◎		

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
労働環境法	LAW300HA	労働法の基礎知識の習得を通じて、身近な労働に関する諸問題について、法的に説明できるようになる。			◎		
国際環境法	LAW200HA	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な環境問題について法的な観点から、考察できる ・各環境条約の全体像を把握し、その背景、特徴、解決すべき問題点、残されている課題を理解し、説明することができる ・国際的な環境問題に対し、法的根拠に基づいて自分の見解を提示することができる 			◎		
行政学	POL100AC	行政や官僚制の構造と機能に関する基本的なテーマを理解できるようになることを目標とする。		◎			
地域協力・統合	POL300GA	<ul style="list-style-type: none"> ①「ヨーロッパ」の地理的広がりについて、みずからの考えを述べることができる。 ②古代ギリシア、ヘレニズム、古代ローマの文化的・政治的・哲学的遺産と「ヨーロッパ」を関連付けて（専門家としてではなく）学部学生にふさわしいレベルで論じることができる。 ③西ローマ帝国崩壊前後以降、10世紀にいたるゲルマン人、ノルマン人、スラブ人の民族大移動と「ヨーロッパ」の形成を、各国史との関係で（専門家としてではなく）学部学生にふさわしいレベルで論じることができる。 ④カトリシズムを軸として形成される中世の西ヨーロッパと、正教を軸として形成される東ヨーロッパや、イスラームの拡大を関係づけつつ（専門家としてではなく）学部学生にふさわしいレベルで論じることができる。 ⑤ルネサンス期を特徴づけるユマニズムの人間論上の意義、大航海時代における非ヨーロッパ地域への影響、宗教改革をもたらした信仰と政治の関係性について、（専門家としてではなく）学部学生にふさわしいレベルで論じることができる。 ⑥中央集権化やヨーロッパ外における植民地をめぐる争い、「文芸の共和国」の出現など、一連の政治的文化的な変化を背景としつつ、商業の発展をつうじて発生した「ヨーロッパ中心主義」的な意識に関し、肯定・否定の両面から論じることができる。 ⑦イギリス、アメリカ、フランスや他のヨーロッパ諸国にみられる市民的権利にもとづく思想・制度の発達について、（専門家としてではなく）学部学生にふさわしいレベルで論じることができる。 			◎		
自治体環境政策論Ⅰ	POL300HA	<p>学生の到達目標は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体による地域環境政策に関する知識を習得する。 ・地域課題に関する政策思考を身につける。 			◎		
自治体環境政策論Ⅱ	POL300HA	<p>学生の到達目標は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な自治体政策に関する知識を習得する。 ・地域課題に関する政策型思考を身につける。 			◎		
アメリカ環境法	LAW300HA	社会に出て、国際的な影響力のあるアメリカ環境法に関係する業務に向き合ったときのために、基本的な理解力をつけることを目指します。また、アメリカ環境法の特徴を学ぶことで、わが国の環境法を考えるとときに、比較して検討できるようになることを目標とします。			◎		

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
地球環境政治論	POL300HA	<ul style="list-style-type: none"> ・パリ協定、気候変動問題、SDGsなどを事例に、地球環境問題をめぐる合意形成のメカニズムを国際関係論の視点から理解できるようになる。 ・地球環境問題をめぐる国際機構や環境NGO、企業といった様々なアクターの活動が理解できるようになる。 ・SDGsやプラスチック汚染など近年の地球環境ガバナンスの課題を理解できるようになる。 ・日本やアメリカの地球環境外交を理解できるようになる。 ・ヨーロッパやアジアなど地域レベルごとの多様な環境ガバナンスの現状を理解できるようになる。 ・グローバル・ガバナンス、地球環境ガバナンスといった国際関係論の視点を理解できるようになる。 ・トランプ政権やバイデン政権による地球環境政策への影響を理解できるようになる。 ・貿易と環境、環境と安全保障といった複合的な問題をめぐる合意形成のメカニズムを理解できるようになる。 		○	◎		
ミクロ経済学Ⅰ	ECN200HA	<ul style="list-style-type: none"> ・ミクロ経済学の基本的な用語を理解し、説明できるようになる ・個々の経済主体の意思決定が、市場や制度を通してどのような影響をもたらしているのかを体系的に理解し、説明できるようになる ・ミクロ経済学の考え方をを使って、日常生活の中における事象を説明することができる 		◎			
ミクロ経済学Ⅱ	ECN200HA	<ul style="list-style-type: none"> ・ミクロ経済学の基本的な用語を理解し、説明できるようになる ・日本の経済の取り巻く問題や身近な出来事を経済学の考え方に基づいて理解し、説明できる 		◎			
マクロ経済学Ⅰ	ECN200HA	<ul style="list-style-type: none"> ①統計データを的確に使用し、日本の直面するマクロ経済問題を自分の言葉で説明することができる ②日本のマクロ経済政策の現状を理解し、財政の持続可能性について考察することができる ③マクロ経済学の理論に基づき、経済政策の是非について自分の意見を論理的に述べるすることができる 		◎			
マクロ経済学Ⅱ	ECN200HA	<ul style="list-style-type: none"> ①銀行や証券などの金融システムが、マクロ経済においてどのような役割を果たしているのかを説明できる ②金融緩和政策の有効性と副作用について、経済理論と統計データに基づいて考察することができる ③国際的な観点から、日本のマクロ経済政策の課題を位置づけることができる 			◎		
現代企業論	MAN200HA	ヒト・モノ・カネ・情報等の各要素を効率的に機能させる株式会社に関する基礎的な知識を習得します。さらに、SDGsやカーボンニュートラルという事業環境の変化に立ち向かう企業の経営戦略を理解し、持続可能な社会における企業の役割に対する理解を深めることを目指します。		◎			
経営学入門	MAN200HA	本講義では、理論的な内容だけではなく、企業の実践的取組みについても触れるために、企業が実際にどのような方針（戦略）を立て、その方針に基づいてどのような仕組み（組織）を作り、その仕組みの中でどのように運営（管理）しているのか、という一連の経営活動の基礎基本を理解することができる。		◎			
環境経営と会計	MAN200HA	本講義では、企業会計の基礎的なフレームワークを学習した後、環境経営やサステナビリティ経営の財務的・非財務的内容を理解し、分析できる能力を身に付けることができる。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
簿記入門Ⅰ	MAN100FA	簿記入門Ⅰでは、複式簿記による帳簿記録のルールを理解し、それに基づいて簡単な貸借対照表および損益計算書を作成できるまで、具体的には複式簿記の原理、帳簿記録の方法、決算の概要、決算書の作成方法までを学習し、簿記入門Ⅱとあわせて日商簿記検定の3級程度のレベルへの到達を目標としています。	◎				
簿記入門Ⅱ	MAN100FA	簿記入門Ⅱでは、簿記入門Ⅰで学習した簿記の基礎に基づいて、複式簿記による帳簿記録のルールを理解し簡単な貸借対照表および損益計算書を作成できるまでのレベルを出発点として、具体的な各種取引の会計処理、帳簿組織の仕組み、決算整理と8桁精算表および決算書の作成方法を修得し、最終的に日商簿記3級程度のレベルへの到達を目標としています。	◎				
公共経済学	ECN200HA	学生は、市場経済における公共部門の役割について学ぶ。 具体的には、以下の事項を説明できる： ・市場経済の利点（厚生経済学の基本定理）と限界（市場の失敗） ・公共財の効率的配分 ・外部性の市場的解決 ・環境問題の市場的解決方法としての環境税と排出権取引 ・情報非対称性問題へのゲーム理論的解決方法の基礎		○	◎		
中小企業論	MAN200HA	学生は中小企業や中小企業政策に関する歴史的経緯と現状、今後の可能性を理解できる。これらを踏まえ、ベンチャー企業や産業集積、商店街、公的な中小企業支援機関や金融機関の役割、ファミリー企業、事業承継、行政の補助金等についても取り上げ、中小企業の多様性、可能性を理解できる。		⊖	◎		
環境経済論Ⅰ	ECN300HA	経済発展に伴い、環境問題が多様化・深刻化している。この授業では、経済学の枠組みを用いて環境問題を捉え、どの様な政策が必要であるかを理論的に考える。具体的には、「市場の失敗」が発生するメカニズムおよびどの様な対策があるのかを考える。またこの授業では、以下の2つを最終目的とする。 ①環境問題の「本質」を理解し、様々な環境問題に応用できるようになる。②排出量取引制度を疑似体験し、制度設計に必要な思考力を身につける。			◎		
環境経済論Ⅱ	ECN300HA	経済学の基礎的な知識と環境問題に対する理解を深めることができる。 また、環境問題を解決するために必要な政策の思考力を得ることができる。			◎		
環境経営論Ⅰ	MAN300HA	本講義では、理論的な内容だけではなく、企業の実践的取り組みについても触れるために、企業が環境問題や社会課題の解決を通じて経済的価値と社会的価値の向上を目指す方針（戦略）をどのように立て、それを実現するためにどのような仕組み（組織）を作り、その仕組みの中でどのように運営（管理）しているのか、という一連の経営活動の基礎基本を理解することができる。			◎		
環境経営論Ⅱ	MAN300HA	本講義では、企業や地域で実践されている、あるいは求められている新たな環境経営やサステナビリティ経営における方針（政策、施策、事業計画または戦略）、仕組み（組織）、運営（管理）という一連の流れとその取組内容を理論的に明らかにし、習得することができる。			◎		
ビジネスストーリー	MAN200HA	日本企業の成長プロセスを振り返り、①企業のパーパス（存在意義）、②事業活動を通じて長年培ってきた「知の蓄積」の実像、③SDGsを先取りしたビジネスを理解し、現代社会で問われている企業活動の社会的意義や企業価値を的確に評価する知識を身につけます。併せて、就職活動で必須となる企業研究の方法論を身につけることを目指します。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
CSR論Ⅰ	MAN300HA	SDGs（持続可能な開発目標）、CSR（企業の社会的責任）、パリ協定（脱炭素）、責任投資原則、ESG投資など、気候変動を巡る世界的な政策動向と日本企業の対応について理解を深めることを目指します。			◎		
CSR論Ⅱ	MAN300HA	SDGsが求める課題は、企業だけでは解決できません。多様な主体とのパートナーシップを通じた課題解決が求められる現代社会では、多面的な物の見方や解決策の策定が欠かせません。企業と社会の関係を巡る国内外の経済思想や企業倫理の変遷を学ぶことで、現代社会が直面している課題の解決に必要な基礎知識の習得を目指します。			◎		
環境マネジメントスタディーズⅠ	MAN300HA	気候変動問題を正しく理解し、2016年に発効した国際枠組み『パリ協定』の下で、世界が脱炭素社会の実現に向けてどのように取り組んでいるか、政府や企業、ESG投資家、NPOなど様々な切り口から包括的に理解すること。約3ヶ月間の学習で、気候変動問題に詳しくなり、他者に説明し議論できるレベルに到達することが期待されます。			◎		○
環境マネジメントスタディーズⅡ	MAN300HA	人間活動が地球環境に与えている負荷の大きさを示す指標『エコロジカル・フットプリント』を用いて地球環境の実情を理解し、森や海を守り、気候変動問題を解決していくために何が必要かを自ら考え議論することができる。 企業の取組みについて調べ、発表を行うことで、プレゼンテーションスキルを向上。（調べるポイント等については、事前に授業の中で詳しく解説）			◎	○	
国際環境政策Ⅰ	ECN300HA	本授業では以下の到達目標を設定する。 ①国際的な環境問題の本質を理解し、説明できる。 ②国際的な環境問題に対して経済学的思考ができる。 ③これらの問題に対して必要な政策を立案できる。			◎		
国際環境政策Ⅱ	ECN300HA	各種統計資料等に基づいた国内外の状況や国際比較への理解を通じて、各学生が将来に向けて現代社会の重要課題である環境問題や環境問題と一体となっているエネルギー問題について、データと事実に基づいて広い視野から主体的に考察できるようになること、そして、将来に向けて新たな問題意識の発掘や醸成および課題解決について思考、議論できるようになることを目標とします。			◎	○	
環境ビジネス論	MAN300HA	環境ビジネスの視点から多様な企業活動を観察することで、環境問題に関する総合的な理解を深めるとともに、企業のビジネスモデルを分析し、その成長性やリスクについて具体的に議論が出来るようになる。様々な企業情報に触れつつ、汎用性の高いツールとしてファイナンスや経営学の基本的な視点を学ぶことで、「企業を見る目」を養い、様々なビジネスモデルを検討する際に、自然にファイナンス的な見方が出来るようになる。また、企業分析と発表・フィードバックを経験することで、プレゼンテーション能力の向上を目指す。		◎		◎	
途上国経済論Ⅰ	ECN300HA	本講義においては、ア) 途上国経済の分析枠組み、特徴、イ) 主要地域や主要国の経済・社会の特徴について学び、ウ) 日本社会や経済の世界における位置づけをよりよく理解し、エ) 将来社会に出た際に諸外国の人々と基礎的な知識に基づいた意味あるコミュニケーションができるようになることを目標とする。			◎		

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学 者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な 語学や情報処理 の基礎的な能 力、文献購読・ 文章作成・コ ミュニケーショ ンの基礎的な能 力を身につけて いる。	DP② 持続可能 な社会に関する 幅広い教養を身 につけている。	DP③ 持続可能 な社会に関する 学際的かつ総合 的な専門性を身 につけている。	DP④ 持続可能 性に関して具体 的な課題につい て考察した上 で、適切な判断 を導き、それら を文章や対話を 通じて表現する ことができる。	DP⑤ 社会の多 様な人びとに対 して共感する力 と、現場 (フィールド) から主体的に学 ぶ姿勢を身につ けている。
途上国経済論Ⅱ	ECN300HA	本講義においては、途上国経済論Ⅰに引き続き、ア) 主要地域や主要国の経済・社会の特徴について学び、イ) 日本社会や経済の世界における位置づけをよりよく理解しウ) 南北問題や世界貿易など、個々の国や地域が置かれている「構造」への理解を深めることで、エ) 将来社会に出た際に諸外国の人々と基礎的な知識に基づいた意味あるコミュニケーションができるようにする。			◎		
国際経済協力論Ⅰ	ECN300HA	本講義を通じて獲得を目指す基礎的な知識は、具体的には、経済協力の歴史、仕組み、その背景にある途上国開発の理論、これまでの経済協力の成果や影響、近年の新たな課題と取り組みを含む。これら基礎的な知識をもとに、日本が国際社会で果たす役割、一人ひとりがなし得ることについて、受講生が自分なりの意見や考えを持ち、人に伝えられるようになることが期待される。加えて「持続可能な開発目標(SDGs)」におけるパートナーシップの意義についても説明できるようになることが期待される。			◎	○	
国際経済協力論Ⅱ	ECN300HA	本講義を通じて獲得する基礎的な知識は、具体的には、経済協力の歴史、仕組み、その背景にある途上国開発の理論、これまでの経済協力の成果や影響、近年の新たな課題と取り組みを含む。これら基礎的な知識をもとに、日本が国際社会で果たす役割、一人ひとりがなし得ることについて、受講生は自分なりの意見や考えを持てるようになることが期待される。加えて「持続可能な開発目標(SDGs)」におけるパートナーシップの意義についても説明できるようになることが期待される。			◎	○	
労働経済論Ⅰ	ECN300HA	TBA			◎		
労働経済論Ⅱ	ECN300HA	TBA			◎		
平和学	POL200HA	第1に、平和学の誕生から現在までの変遷、その特徴、他学問領域との関連、そして平和学における諸論点を横断的に理解します。また平和を希求する試みは、国際関係論とも強い親和性があるため、国際社会を構成する各主体(アクター)の特徴と関係性について理解します。第2に、それらの知識を活用して、紛争、平和構築、難民、多文化共生社会、といった具体的な課題に取り組む主体と手法の多様性を主体的に考察できるようにします。最終的に各受講者が世界の諸問題について自身で学びを深めていける能力を養成します。		◎	○		
人間の安全保障	POL300HA	安全保障概念の変遷、人間の安全保障に対する国際機関・国家・NGOの政策、人間の安全保障という概念を基軸として見つめ直される諸課題について理解します。特に諸課題の現状を冷静に把握し、これを解決する手段として国際社会がどのような方策を立ててきたのかを学習します。これによって、越境的に生じる政治経済社会問題を学生自身が主体的に考察し、当事者の視点を踏まえて議論できるようにします。		○	◎		
地域形成論	ADE300HA	学生の到達目標は以下のとおりである。 ・地域社会に関する高度な専門学習に必要な基礎知識を習得する。 ・現代日本における多様な地域問題と解決策のケースを理解する。			◎		
地域経済論Ⅰ	ECN300HA	拡大するグローバル社会の中では、国家経済的な視点だけでなく、地域の主体性(ローカル・イニシアティブ)も同時に求められています。本講義では①地域の経済理論、②事例分析にもとづいた昨今の課題を通して、地域の経済に対する具体的な分析能力と企画立案能力を習得し、サステイナブルで豊かな地域社会のありかたについて考えることを目指します。			◎		

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
地域経済論Ⅱ	ECN300HA	学生は、長期的な視野から、国土開発の歴史を概観し、「地域」や「地方」という概念がいかに登場し、その意味がどのように変遷しながら現在に至るのかを考えます。特に戦後の全国総合開発計画の歴史、高度経済成長期における地域構造の大転換、明治・昭和・平成の合併などが地域に与えた影響をふまえて、今、なぜ地域の経済を論じる必要があるのかを議論してみたいと思います。			◎		
地域福祉論	SOC300HA	人は誰もが、幸せでありたいと漠然と願っている。それは、自分が暮らしたい場所で、豊かな人間関係に囲まれ、他者から必要とされ、充実した毎日を送り、「生きていてよかった」と思えるようになることであろう。その一方で、「幸せになれなくても仕方がない」とされるマイノリティが存在する。地域福祉は、地域に暮らす一人一人が「幸せだ」「生きていてよかった」と思えることであり、そのためには、住民自身が「我が町を、住んで都にする」という意識を持ち、自分ができることを働きかけていくことが求められる。本講義では、そのための基礎的な知識として、福祉的なニーズを抱える人たちに対する理解と、地域に存在する社会資源、助け合う方法などについて理解を深めていく。そのことをもって、自らが地域社会に働きかけていく意識を醸成し、実践していく力を身につける。			◎		
地域コモンズ論	SOC300HA	まずコモンズ研究がどのような背景で成立し、どのように発展してきたのかを理解する。次に、様々な地域資源やそれに関する実践活動から資源の持続可能な利用や地域社会の持続可能性について理解する。			◎		
都市デザイン論	ADE300HA	①都市をデザインする動機、プロセス、実現、その後の評価について学び、それを踏まえて、都市環境への洞察力を高める。 ②都市デザインへの関わり方を具体的に知ることにより、当事者として関わる意識を高める。また、足がかりを把握する。 ③都市デザインの背景やそれを生み出す価値感を知ることにより、デザインされた都市を評価するための判断基準を持つ。			◎		
環境社会論Ⅰ	SOC300HA	本講義の受講を通して、社会学的な環境問題への基本的なアプローチ法を学び、説明できるようになること。環境問題を解決できる専門職業人としての基盤的知識・技能を修得できるようになること。			◎		○
環境社会論Ⅱ	SOC300HA	現代の環境と地域（社会）をめぐる諸課題に対して、社会学的な「問い」を持ち、それを鍛え、かたちにしていく過程を身に付けることを到達目標とする。環境問題を解決できる専門職業人としての基盤的知識・技能の習得を目指す。持続可能な自然環境及び地域社会に貢献できる能力を育むための知見を獲得することを目標とする。			◎		○
環境社会論Ⅲ	SOC300HA	環境問題に関わる社会運動の多様な形や活動の条件、活動の意味などを理解すること。地域的な共同性・公共性を構築するための市民参加の制度設計に関する理解を深めること。 日本におけるエネルギーと社会、市民との関係について歴史的な経緯と今後の関係性についての多様な知見の存在を理解すること。			⊕		⊖
NGO活動論	SOC300HA	1 世界の人々が直面している問題とそれら相互のつながりについて体験的に理解する 2 NGOと市民社会に関する歴史と現状を理解し、広い視野で世界の人々のつながりを考えられるようになる 3 NGO活動を通して自ら世界に関わろうとする積極性と市民性を身につける			◎		○

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
ローカルスタディーズⅠ	SOC300HA	「農山村（中山間地域）」の現状や課題を理解するだけでなく、その問題解決策まで考える。			◎	○	
ローカルスタディーズⅡ	SOS300HA	海洋に漂う無数のマイクロプラ。そのプラが生物に対してどのように影響しているのか、またどのように我々に影響するのか。そしてその結果 現在どうなっているのかを探り出します。海洋、ゴミ、プラスチック、可塑剤（添加剤）、農薬等の問題点を探り、これからの時代、自分の未来環境をどう思慮するかを勉強しましょう。			◎		○
災害政策論	SSS300HA	①災害とは何かを、実例から学んで理解する。②現状の政策の背景と発展の経緯、残る課題を理解する。③今後の国・自治体の災害政策のあるべき姿を考える。④災害大国日本における当事者として、自らの専門性にどう生かすかを見出し、今後の社会での実践につなげる。			◎	○	
社会開発論	SOC300HA	下記の3点を到達目標とする。 1、SDGsに関連づけながら、社会開発の概念、扱うテーマについて、理論と実践の両方を往復することで基本的な知識を習得する。 2、途上国と先進国、当事者と支援者、というような二項対立ではなく、また自分と違う立場にある人びとを他者化することなく、「貧困」を理解することを目指す。 3、想像力を駆使して、社会開発が人間に変化をもたらすものであることを、実感する。			◎		○
国際社会学	SOC300HA	本授業を通じて、在留外国人の移動と生活の実態を総合的な観点から理解することで、今日、世界的に生じているトランスナショナルな現象について理解し、自分なりに考察を進めることを目標とする。			◎		
西欧近代批判の思想	PHL200HA	西欧近代批判として、この授業では主として2つの視点から学んでゆく。一つは、西欧の古典思想からの視点であり、もう一つは西欧近代思想自身からの視点である。これにより、西欧近代への批判を、人間を超えた存在（アイデア、神など）の尊重と、人間中心主義に対する批判という方向で把握し説明できることを目標とする。		◎			
仏教思想	PHL200HA	近現代日本の仏教思想について、歴史的事例をもとに論じることができる。 —また近現代日本の仏教思想の展開を学ぶことにより、自らの「仏教」イメージを相対化するとともに、今日の仏教のあり方について認識を深めることができる。—		◎			
日本詩歌の伝統	LIT200HA	・「俳句」の定型詩としての規則を理解する。 ・定型詩の創作を通して言葉に関する感覚を磨く。 ・「切字」「取り合わせ」といった俳句に関する技法について理解し、実作に応用する。 ・日本の詩歌の伝統のなかではぐくまれてきた季語の豊かさを認識する。		◎			
日本美術史論	ART200HA	学生個々のこれまでの学習体験により、日本美術史に対する知識に不均衡があることが予想されるため、まず日本美術史に対する教室内での共通認識を深める。私たちの先人が生み出してきた絵画の歴史についてたどることで、わが国の伝統と文化の特色の一端を味わい理解することを目標とする。諸資料の講読などによってさまざまな近代日本画の用語と基礎知識を理解し、日本美術に対する教養を身につけることを目的とする。さらに授業で取り上げる絵画に関する意見を表現するトレーニングなどを通して、美術作品の読解力や近代日本画の意義を論じる力を養うことを目指す。		◎			
西洋美術史論	ART200HA	美術・デザインを歴史的背景とともに考察できるようになること。		◎			
応用倫理学	PHL200HA	応用倫理学の概要と、特に医療倫理（生命倫理）と動物倫理の議論を理解し、自分なりに現代社会における倫理を考えることができることを目標とする。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学 者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な 語学や情報処理 の基礎的な能 力、文献購読・ 文章作成・コ ミュニケーショ ンの基礎的な能 力を身につけて いる。	DP② 持続可能 な社会に関する 幅広い教養を身 につけている。	DP③ 持続可能 な社会に関する 学際的かつ総合 的な専門性を身 につけている。	DP④ 持続可能 性に関して具体 的な課題につい て考察した上 で、適切な判断 を導き、それら を文章や対話を 通じて表現する ことができる。	DP⑤ 社会の多 様な人びとに対 して共感する力 と、現場 (フィールド) から主体的に学 ぶ姿勢を身につ けている。
環境倫理学Ⅰ	PHL200HA	アメリカの環境倫理学と日本の環境倫理学の歴史と中身について理解できる。		◎			
環境倫理学Ⅱ	PHL300HA	「良い環境とは何か」について自分なりの答えが見つけれられるようになる。			◎		
現代思想と人間Ⅰ	PHL200HA	さまざまな学問領域において持続可能でインクルーシブな社会の実現のためにマイノリティと不平等の問題を考察していくうえで、現代社会思想を中心に、基本的かつ不可欠な諸概念に関する思想的営為の系譜をたどり、それら諸概念にかけられている負荷を把握します。 そこで得た知見を基に、それらの現代社会における意義を主体的に考察し、見解を示せるようになることで、広い視野に立ちながら、平和で民主的な社会を形成していく市民として必要な知識と思考力を涵養します。		◎			
現代思想と人間Ⅱ	PHL300HA	持続可能でインクルーシブな社会の実現のために、アクチュアルな政治的・社会的課題について現代社会思想を基盤にして討究していきます。 そこで得た知見を基に、それらの現代社会における意義を主体的に考察し、見解を示せるようになることで、広い視野に立ちながら、平和で民主的な社会を形成していく市民として必要な知識と思考力を涵養します。"			◎		
日本環境史論Ⅰ	HIS300HA	本授業では、「近世日本の人と自然の関係史」について、①歴史用語の意味や使い方、歴史資料の読み解き方を、具体的な事例に基づいて説明できるようにすること、②「近世日本」という時間・空間を意識しつつも、時間の流れによる変化、全国的な動向だけでなく地域性にも注目し、豊かな歴史像を構築できるようにすること、を目標とします。		◎			
日本環境史論Ⅱ	HIS300HA	本授業では、災害をキーワードに、「近世・近代日本の人と自然の関係史」について学習し、①歴史用語の意味や使い方、歴史資料の読み解き方を、具体的な事例に基づいて説明できるようにすること、②「近世・近代日本」という時間と空間を意識しつつも、時間の流れによる変化、全国的な動向だけでなく地域性にも注目し、豊かな歴史像を構築できるようにすること、を目標とします。			◎		
ヨーロッパ環境史論Ⅰ	HIS300HA	ヨーロッパの都市の歴史的発展を、そこに暮らす人々の生活世界 (Lebenswelt) がどのように時代によって変化してきたか、また人間と自然環境との関係はどのように変化してきたかを考察することで、ヨーロッパだけでなく日本を含む世界の他地域の都市社会の歴史や文化的独自性についての理解を広げるための視座を提供する。		◎			
ヨーロッパ環境史論Ⅱ	HIS300HA	社会のなかには、さまざまなかたちの「弱者」がいる。病気・貧困・老齢・障害・失業などの理由により、通常の生活を送ることができず、時には自力で生計を維持できなくなった人々である。社会的「弱者」は、往々にして社会の周縁に追いやられ、差別や迫害を受ける場合もある。しかし、同時に彼らに保護し救助の手をさしのべることは、時代と地域を問わず、つねに社会の大きな関心事であった。「弱者」とはどのような人たちで、なぜ排除されるのか、また誰がどのような手段で彼らを救助するのか、そのあり方は、それぞれの社会状況を反映して、時代とともに大きく変化してきた。			◎		
環境人類学Ⅰ	CUA200HA	本授業では人間と自然の関係をどう捉えるかという問題について、文化人類学が明らかにしてきた多様な事例からアプローチすることで、SDGs、脱炭素など現代の我々が直面する環境問題に対し、グローバルかつクリティカルな思考で取り組む能力を養うことを目標とします。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
環境人類学Ⅱ	CUA300HA	本講義では、身近な環境問題について社会文化人類学的アプローチを利用しながら再考することで、人間と環境の関係についての知識とグローバルな視点を深めることに加え、クリティカルシンキングを養うことを目的にします。			◎		
環境人類学Ⅲ	CUA300HA	・人間と自然、環境との関係についての先入観を捨て、人類学的な視点から自らに引き寄せて理解し、考える。 ・開発の人類学の基本的な視点を身につける。 ・開発によって改変される人間と環境との関係について多角的な視点から理解し、今日の私たちが置かれた状況について考える能力を身につける。 ・途上国において行われている開発援助の実態を理解し、自らの問題として引き受け、批判的に考察できるようにする。			◎		○
環境表象論Ⅰ	TRS200HA	・「文化的景観」が、従来の文化財の考え方とは一線を画する、「環境」の世紀にふさわしい新しい概念であることが理解できる。 ・「景観」は見た目だけではないことや、一見「環境」と関わりが薄そうな事柄も大いにエコにつながる人が多いということに気付ける。		◎			
環境表象論Ⅱ	TRS300HA	・「有機的に進化する景観」の意味を理解できる ・「五感」をばらばらに区別するのではなく、相互作用の融合感覚として捉えることが有効なこと（言い換えれば、「視覚偏重社会」のなかで、現場の実体験の大切さ）を理解できる。 ・「五感豊か」とは快適なものだけを指すのではないこと（快適、便利ではない要素もかなり重要であること）を理解できる。			◎		
比較演劇論Ⅰ	ART200HA	演劇の各ジャンルについて基本的な教養を養います。		◎			
比較演劇論Ⅱ	ART300HA	春学期講義「比較演劇論Ⅰ」で学んだ理論的枠組みを土台に、さまざまな演劇作品・関連芸術への鑑賞眼を養います。			◎		
文化経営論	SOC200MA	芸術文化を担う様々な主体（創り手・企業・行政・NPO等）の現状、取り組み事例、その背景や歴史を概観した上で、芸術と社会をつなぐマネジメント・プロデュースの視点から学修します。芸術そのもの、クリエイティブ産業、まちづくり、福祉、教育など芸術文化と学生自身の生活との多岐にわたる関わりに新たな気づきを獲得することを目指します。		◎			○
自然環境論Ⅱ	GEO200HA	地形の成り立ちと形成過程を説明できる。 土地条件や土地利用といった視点から人間社会の課題を具体的に提示できる。		◎			
自然環境論Ⅲ	GEO200HA	変動地形と古地震の調査法を説明できる。 日本列島の地震発生環境の地域的個性を具体的に記述できる。		◎			
自然環境論Ⅳ	DES300HA	以下の4点について知識と理解を深め、その要点を説明できることを目標とします。 ①生物地理とバイオーム（生物群の違い）の理解 ②世界の各地域ごとの野生生物と生態系の特徴 ③世界の各地域ごとの野生生物と生態系を取り巻く問題と人間との軋轢・共生 ④生物や自然を対象としたツーリズムとその課題			◎		
エネルギー論Ⅰ	INE200HA	1. エネルギーと人間生活、社会との結びつきを説明できる。 2. 各種エネルギー資源の特徴とその利用方法、原理について説明できる。 3. エネルギーの利用状況と国際的な動向を説明できる。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
エネルギー論Ⅱ	INE300HA	<ol style="list-style-type: none"> エネルギーと環境問題との結びつきを説明できる。 各種再生可能エネルギーの仕組みを説明できる。 再生可能エネルギーの効率、環境負荷低減効果、課題を説明できる。 			◎		
環境健康論Ⅰ	BOM200HA	<ol style="list-style-type: none"> 「持続可能な環境重視の社会」を構築するために、環境と健康の対応関係を理解できる。 ホメオスターシスと病気の関連性について述べることができる。 日本人の死因について述べるができる。 人間のがんに関わる要因について説明する。 創傷の治癒過程について説明できる。 免疫の働きと役割について説明できる。 腸内細菌と免疫系の関係を述べるができる。 食べることの重要性を述べるができる。 治癒を促進する食品が説明できる。 治癒と排出の関係を説明できる。 治癒を妨げるものを列挙できる。 こころが治癒に果たす役割などについて説明できる。 自らの健康感を述べるができる。 		◎			
環境健康論Ⅱ	BOM200HA	<ol style="list-style-type: none"> 補完代替医療の健康観について説明できる。 世界の伝統医療についてその特徴を説明できる。 代表的な補完代替医療を列挙でき、その内容を概説できる。 代表的な補完代替医療の特徴、長所および短所を説明できる。 現代西洋医学と補完代替医療を比較し、それぞれの特徴を説明できる。 東洋医学の根幹である「気」の概念を理解できる。 陰陽論、五行学説について概説できる。 鍼・灸療法の特徴、効果、用い方について説明できる。 ホメオパシーの特徴、長所および短所を説明できる。 エネルギー療法について実践例を挙げて説明できる。 		◎			
気候変動論Ⅰ	PLN200HA	この授業を通じて、気候変動の科学的なリテラシーを身につけることができる。具体的には（１）気候変動科学のこれまでの経緯、（２）温室効果、太陽放射、アルベド等の気候システムの基礎、（３）温暖化予測の概要、（４）大気と海洋の循環と熱収支、（５）炭素循環、（６）簡単な温室効果モデルについて学ぶ。		◎			
気候変動論Ⅱ	EAE200HA	この授業を通じて、気候変動の科学的なリテラシーを身につけることができる。具体には（１）気温の変化とその測定方法、（２）温室効果ガスの増加とその原因、（３）エアロゾルの影響、（４）降水・積雪への影響、（５）海洋への影響、（６）気候変動の予測と不確実性、（７）適応策・緩和策、（８）古気候学について学ぶ。		◎			
自然環境政策論Ⅰ	DES300HA	保全対象となる自然環境の特性と、人間活動によって引き起こされた問題の現状と課題、さらにはそれらを解消するための取組について理解を深め、その要点を説明できる力を身に付けます。			◎		

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
自然環境政策論Ⅱ	DES300HA	以下の3点について知識と理解を深め、その要点を説明できる力を身に付けます。 ①日本における自然環境保全へ向けた誘導的・社会的・経済的な取り組みの考え方とその実際 ②諸外国における取り組みの事例とその仕組み ③国際条約など国際的な枠組みによる保全			◎		
環境科学Ⅰ	ENV300HA	以下に示した環境問題の発生メカニズムと対策技術の基礎を理解することを目標とします。 ・大気汚染（ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、アスベスト） ・上下水道の構造と処理のプロセス ・水質汚濁（富栄養化のメカニズム、工場排水の処理） ・土壌汚染（原因、対策技術） ・廃棄物（法律上の定義と現状） ・リサイクル（意義と現状） ・基準の決め方（リスク論と基準の決定方法） ・環境アセスメント（法制度、具体例）			◎		
環境科学Ⅱ	ENV300HA	以下の環境問題の発生メカニズムと対策技術の基礎を理解することを目標とします。 ・人口増加のパターンと要因 ・オゾンホールが南極上空にできるメカニズム ・気候変動のメカニズムと緩和策、適応策 ・気候変動をめぐる社会 ・酸性雨、プラスチックによる海洋汚染など越境汚染の原因と対策 ・環境国際協力			◎		
環境科学Ⅲ	ENV300HA	資源の歴史的意味に始まり、以下に示すさまざまな資源の性質や利用などについて学習することで、資源の科学的性質や利用の見通しについての基礎知識を習得します。 ・資源の意味 ・淡水 ・エネルギー ・土壌とリン、窒素 ・遺伝資源 ・ベースメタルとレアアース			◎		
衛生・公衆衛生学Ⅰ	SOM300HA	学生は、各種の健康問題の実情を学び、必要とされる健康行動について考えていく。 たとえば、学生生活においてしばしば問題となる飲酒行動について、アルコール摂取により体に何が起こるのかを知り、飲酒に関わる問題を引き起こさないためにどのような健康行動を身につけていくべきかについて具体的にその方法を考えることができるようになる。 これらの学びの積み重ねによって、学生は、将来の疾病を予防し、健康寿命を延長していくことが可能となる。			◎		

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学 者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な 語学や情報処理 の基礎的な能 力、文献購読・ 文章作成・コ ミュニケーショ ンの基礎的な能 力を身につけて いる。	DP② 持続可能 な社会に関する 幅広い教養を身 につけている。	DP③ 持続可能 な社会に関する 学際的かつ総合 的な専門性を身 につけている。	DP④ 持続可能 性に関して具体 的な課題につい て考察した上 で、適切な判断 を導き、それら を文章や対話を 通じて表現する ことができる。	DP⑤ 社会の多 様な人びとに対 して共感する力 と、現場 (フィールド) から主体的に学 ぶ姿勢を身につ けている。
衛生・公衆衛生学Ⅱ	SOM300HA	本講座では、学生は疫学、保健衛生統計学的手法、社会学的手法を用いて問題調査、提起を行い、対策を講じていく過程を学習する。これにより、学生は日々の生活の中で触れる健康情報を評価し、取捨選択を行い、適切な健康行動を取ることが可能となる。また、学生は日本の医療の現状について学び、患者としての適切な受療行動を考える。さらに学生は生命倫理の諸問題について学び、いかに生き、いかに死ぬかについて考えていく。特に終末期医療についての知識を身につけることによって、将来家族や自分が終末期を迎えたときにどのような医療を受け、いかに死を迎えるかを話し合い、決定する機会を持ち、実施することを目的とする。			◎		
衛生・公衆衛生学Ⅲ	SOM300HA	精神疾患についての知識を身につけることにより、学生が自分自身の精神的な安定を保ち、また自分自身のみならず、家族や同僚、友人など、周りの人の状態にも敏感に気づくことができるようにする。 ものの考え方を考えることによって、精神を健康に保つ方法を身につける。 栄養療法によって精神疾患を防ぎ、改善する知識を身につける。 精神疾患の予防（予防、早期発見・早期治療、社会復帰）を目指し、日本社会にはびこっている偏見を取り除くことも目的としている。			◎		
大気と社会Ⅰ	EAE300HA	1. 気候の構成要素から、日本の気候の特徴を説明することができる。 2. 日本の主な気象災害について、その要因も含めて説明することができる。 3. 日常生活において、どのように気候の影響を受けているのか、功罪両面から考えることができる。		◎			
大気と社会Ⅱ	EAE300HA	1. 大気運動による物質輸送と社会との関係について説明できる。 2. 都市あるいは地域の独特の大気の動きとそれが引きおこす災害や事故などについて説明できる。 3. 人間生活で利用している気流について説明できる。			◎		
環境モデル論Ⅰ	ENV200HA	地球システムとその上で行われている人間活動の特徴を科学的に考察するための背景を知ることをめざしている。具体的な目標は次に示す通りである。 ・地球システムの概要について説明できる。 ・自然界における物質循環（例えば炭素循環）のメカニズムについて説明できる。 ・エネルギーの変換と効率について理解する。 ・物質・エネルギーに関する量の保存則と質の劣化則について理解する。 ・環境負荷の大きさを表す指標について説明できる。 ・物質・エネルギーの観点から、社会の持続可能性の条件について考察できる。 本科目は環境問題を考察する上での基礎学であり深く環境を学ぼうとする学生にとっては 必須の内容であると思われる。次の「授業計画」で述べている内容 は少し難しい表現もあるが、それも履修しているうちに大方理解できるようになるであろう。		◎			

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
環境モデル論Ⅱ	ENV200HA	<p>自然界で観察される現象をコンピュータ上で再現し、その時間発展を追跡するシミュレーションを体験する。具体的な目標は次に示す通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EXCELの各種機能の利用法を習得し、これを高度（実務）利用することができる。 ・システムダイナミックスの手法を習得し、これを応用することができる。 ・ウサギとヤマネコのモデルに見る異生物種間の共生関係（捕食－被食関係）のメカニズムが説明できる。 ・共生関係をもつ系の安定性（持続性）を考察する。 ・カオス、フラクタルの概念が説明できる。 <p>本科目は環境問題を考察する上での基礎学であり深く環境を学ぼうとする学生にとっては必須の内容であると思われる。次の「授業計画」で述べている内容は少し難しい表現もあるが、それも履修しているうちに大分理解できるようになるであろう。</p>		◎			
環境管理論Ⅰ	ENV300HA	<p>新聞やTV などマスコミ報道でよく耳にする環境キーワードが十分理解でき、環境系学部卒にふさわしい水環境の原理原則をマスターする。環境汚染の実態および物理化学処理などの浄化処理技術を基礎から習得する。汚れた廃水が無色透明に浄化できるプロセスなど水質浄化技術の理解に加え、米国の環境科学の知見や汚染事故、海外情報なども学び、国際レベルで環境問題を思考できるレベルを目指す。</p> <p>実社会で役立つ環境技術と法令の実務スキルの理解を深める。さらに、公害総論や水質概論など公害防止管理者国家試験や民間検定などの水環境の問題(過去問)を解く訓練も時々行い、授業終了段階では水環境の技術と法規の専門用語や基本概念を問う基本的問題が解けるようになる。</p>		○	◎		
環境管理論Ⅱ	ENV300HA	<p>近年の国内外の大気汚染問題について、その原因、対策、課題について理解する。環境基本法、大気汚染防止法等の大気関連の規制及び国の政策について知る。大気汚染物を発生する各種生産活動、大気汚染物質の処理方法及び測定方法について理解する。企業における環境管理の活動について自ら調べ、各産業における課題と対策について考える。</p>			◎	○	
廃棄物・リサイクル論	ENV300HA	<p>廃棄物・リサイクルに関する多くの課題や今後の方向性を理解する。</p> <p>廃棄物を排出する者、処理する者、いずれ廃棄物となる物を製造する者など立場によって異なる責任について理解する。</p> <p>廃棄物・リサイクルについて、より幅広い環境問題や地球環境問題との関係を理解する。</p>			◎		○
食と農の環境学Ⅰ	ASS300HA	<p>学生が、①農業経済学・農政学の基本的な知識を身につけるとともに、②日本農業が抱える問題点、今後日本農業が向かうべき進路について自分の考えを持ち、③論理的に表現することができることを到達目標とする。</p>			◎	○	
食と農の環境学Ⅱ	ASS300HA	<p>受講生は「食」と「農」をつなげて「環境」や「地域」の魅力を理解し、説明し、発想・構想・実践できる知識と能力を習得する。</p>			◎		
食と農の環境学Ⅲ	ASS300HA	<p>受講生はフィールドワークにもとづいた地域経済学の研究を中軸に据え、地理学、歴史学、人類学、社会学、民俗学などの知見と成果を加えた、多面的かつ複眼的な視点から、食と農の問題を考えることを目指します。</p>			◎		

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学 者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な 語学や情報処理 の基礎的な能 力、文献購読・ 文章作成・コ ミュニケーショ ンの基礎的な能 力を身につけて いる。	DP② 持続可能 な社会に関する 幅広い教養を身 につけている。	DP③ 持続可能 な社会に関する 学際的かつ総合 的な専門性を身 につけている。	DP④ 持続可能 性に関して具体 的な課題につい て考察した上 で、適切な判断 を導き、それら を文章や対話を 通じて表現する ことができる。	DP⑤ 社会の多 様な人びとに対 して共感する力 と、現場 (フィールド) から主体的に学 ぶ姿勢を身につ けている。
グローバルスタディーズⅠ	ARSI300HA	1) 身近なモノを事例として、生産地や生産者その他のステイタホルダーに関する具体的なイメージを持ち、社会 経済の動き方を理解する。 2) 文献や統計資料（英文含む）を読みこなす力を身につける。 3) ウェブサイト上にある情報を丸のみせず、情報発信者の立場や目的を客観的に判断して使いこなす力を身につける。 4) 調べて得た知識を基礎としつつ、独自の視点で課題や解決策を提案する力を身につける。			⊕	⊖	
グローバルスタディーズⅡ	ARSI300HA	1) 現代の社会の成り立ちには歴史的経緯があることを理解し、その知識をふまえて現代の国境を超える人の移動について考察する。 2) 文献や統計資料を読みこなす力を身につける。 3) ウェブサイト上にある情報を丸のみせず、情報発信者の立場や目的を客観的に判断して使いこなす力を身につける。			⊕	⊖	
研究会	OTR400HA	【テーマによって異なる】	○	○	○	◎	○
研究会修了論文	OTR400HA	各自でテーマを決め、研究会修了論文を執筆する。				◎	
コース修了論文	OTR400HA	各自でテーマを決め、コース修了論文を執筆する。				◎	
プログラム修了論文	OTR400HA	各自でテーマを決め、プログラム修了論文を執筆する。				◎	
フィールドスタディ	OTR200HA	教室での講義や文献から学んだ事柄を、「現場」における実体験を通じて検証し、当該フィールドにおけるトピックス、テーマに関する知識を習得するとともに、人間環境学部で学ぶ自らの問題意識を高めることができる。			○		◎
キャリアチャレンジ	CAR300HA	在学中に企業・行政組織・NPOなどで短期の就業を体験することでキャリア形成への意識を高め、卒業後の進路選択に資することを目標とする。					◎
人間環境セミナー	OTR200HA	グローバルな射程を持ち、多様かつ一部は実現に困難が予想される目標も含んだSDGsについては、主に国際機関、政府やNGO/NPOが主体的に活動するものと思われがちである。しかしSDGsでは、民間企業や市民がその担い手として重要であると認識されている。持続可能な社会について学ぶ当学部の学生として、①SDGsに関する基礎的な知識を持ち、人に説明することができるようになること、②SDGsにあげられた各種課題を「自分ごと」として捉えることができる当事者としての意識を涵養すること、が本セミナーの目標である。		○			◎
人間環境特論	OTR200HA	【テーマによって異なる】	○		◎		
スタディ・アブロードⅠ～Ⅷ	LAN200HA～ LAN207HA	【テーマによって異なる】	◎	○			
Field Workshop	OTR200HA	Through this course, students will be able to (1) better understand issues of sustainability, especially by connecting knowledges that they learned in classrooms and through field visits and (2) to actively engage in discussions on how to apply theories to actual problems in order to improve future sustainability.			◎		◎
Co-creative Workshop AⅠ, AⅡ, BⅠ, BⅡ	OTR200HA	By the end of the semester, students should be able to: (1) identify and analyze sustainability problems in given cases (2) interact proactively and collaborate with diverse participants (3) design collaborative solutions and present them in the class	◎	◎		◎	

授業科目名	ナンバリング (2017年度以降入学者用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場（フィールド）から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
SCOPE Seminar	OTR400HA	(1) Learn critical reading skills. (2) Learn critical thinking skills. (3) Understand how 'concepts' are used analytically.			◎	◎	◎